広報かわねほんちょう　平成25年7月号

“センノキラメキ”

千の煌めき

7代目緑のふるさと協力隊

山﨑千晶の奮闘記

vol. 2

5月5日(日)

お茶の清々(すがすが)しい香り

5月19日(日)

大札山の山頂で

5月22日(水)

おじさんキッチンに参加。ピザパンとキャベツのミルクスープを作りました！

5月12日(日)

ニホンミツバチの分封(ぶんぽう)
(巣を引っ越しさせる作業)

▼5月5日(日)

八木の茶工場手伝い。茶工場でのお茶を蒸す匂いや生葉の匂いが、小学生時代に父の仕事場で嗅いだような機械のオイル独特の匂いと違い、すがすがしくて新鮮でした。

▼5月12日(日)

ニホンミツバチの分封を初めて見ました。セイヨウミツバチと違ってあまり攻撃性が強くなく、近付いても怒らない様子や小さくて少し黒い感じが、なんとなく可愛く思えました。

▼5月18日(土)～19日(日)

「海の子・山の子交流教室」に参加。二日目は大札山にシロヤシオの花を見に行きました。ヒメシャラやキハダなど木の皮の感触がそれぞれ違うことを感じ、自然の草木の多様性や、枯れた木が鳥のエサ場や巣になることを学びました。

▼5月26日(日)

エコツーの米作りに参加。小学生と一緒に田んぼに入り、田植え作業の手伝いをしました。初めての田んぼの泥の感触がこそばゆいのと身動きが取れなくて悪戦苦闘。田んぼの中にいたイモリも数えてみました。早苗がとても柔らかく、根を分ける作業でちぎれてしまわないかとヒヤヒヤしました。

▼5月を過ごして

こちらに来て、自然やお茶に関わり、お茶づくりの大変さや茶工場ごとのこだわりに触れることができました。また、お茶の入れ方一つで味が変わること、ひとつひとつ丁寧に動くことの大変さと大切さ、それらが自分に還ってくることを知りました。

それから、自然環境は急激に変化することがあるということ。それらに上手く対処し、理解しながら付き合っていくには、常に観察しながら謙虚に学ばなければいけないのだと思いました。

まだまだ、勉強しなければならないことが山積していて戸惑うことがありますが、ゆっくり、しっかりと残りの時間を無駄にしないように学んでいきたいです。

山﨑千晶(やまざき ちあき) ▷出身：神奈川県横須賀市▷好きな動物：猫▷好きなスポーツ：BMX(自転車競技)▷関心事：動物と森林

発行：川根本町　編集・企画課広報情報室　☎0547(56)2221
住所：〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾627
広報かわねほんちょうは、再生紙を使用しています。

広報かわねほんちょうでは、おたよりなどお待ちしています。町に関すること、広報に関すること、何でも気軽にお寄せください。
FAX(56)2235　役場企画課広報情報室までどうぞ

UD FONT by MORISAWA

◀川根本町携帯電話サイト 休日当番医やお知らせ、各課の連絡先などが確認できます。QRコードからアクセスしてください。